



EasyCamper Revolution

INSTRUCTION MANUAL

有限会社 ダイキ

〒444-0316 愛知県西尾市羽塚町寅山43-2

0563-75-0327TEL

付属パーツ

1. a) 付属パーツ

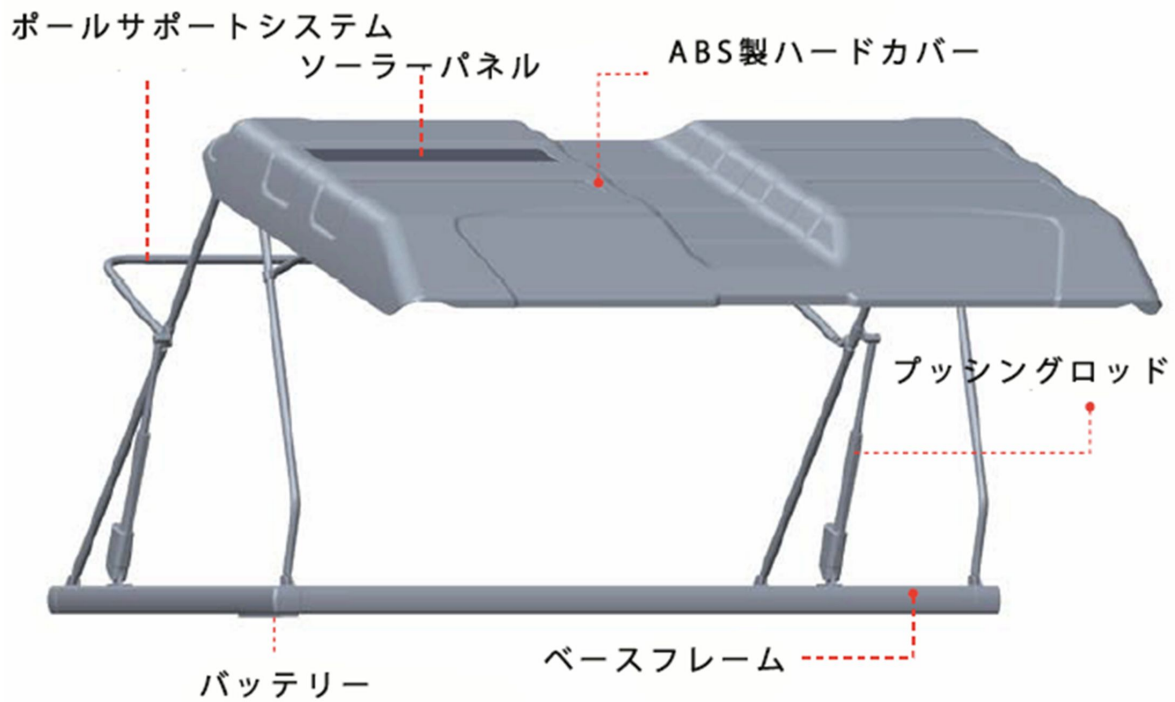


1. U スクリュー 8 セット
2. エンドキャップ 4 個
3. リモコン 2 個
4. USB ケーブル 1 本
5. バッテリー 1 個
6. 充電器 1 個
7. バッテリー-用電源ケーブル
8. スペアパーツセット 1 個 (右のヒートシース)

※ 付属パーツはルーフテントのカバーを開けて、左側にあるポケットにしまっています。

構造について

1. b) ルーフテントの内部構造



プッシングロッド



ルーフテントの取り付け方



①取り付け前に確認をしましょう。前後左右にそれぞれ2個ついているベルトを外します。



②左右に1本ずつ梯子を固定しているバンドのバックルを外します。



③ベルトをほどいたら、梯子を屋根の上から下ろします。



④樹脂製の蓋を上押し上げるとダンパーの力でスーッと上がります。



⑤左側の靴入れの中にパーツなどが入っていますので取り出してください。



⑥バッテリーを充電した後、ルーフテント下にあるコネクターと接続してください。



⑦底の取っ手をもって、底をゆっくりと閉めなおします。



⑧ リモコンのUPを押すと、ゆっくりとルーフテントが展開されます。



⑨モーターが止まったら、底を開いてみます。点検が終了したら逆の順序で置みます。



⑩ルーフテントをキャリアの上に乘せたら、ボルトをレール状の溝に通します。



⑪必要な本数のボルト通し終わったら、Uスクリューを固定します。



⑫マツ製ルーフテント用キャリアをルーフテントに固定します。



⑬レールの先端にエンドキャップを取り付けます。



⑭ルーフテントEasyCamper revolutionの取り付けが完了です。

必要であればハシゴの長さを調整してください。

1. ハシゴをルーフテントに固定しているリベットをドリルを使って取り外します。
2. 上下均等に切りたければ樹脂発を固定しているリベットをドリルを使って取り外します。
3. ハシゴを金のこやグラインダーで切断します。
4. ハシゴにリベット用の穴を開け、リベットで固定します。

注意： 切断する長さによっては樹脂パーツとハシゴの踏む個所と干渉することがありますので、上下の切る位置を調整してください。

ハシゴの固定ベルトの長さが足りなくなることがあります。

その場合は新しく作り直すか、ベルトを切断してハシゴに縫い付けてください。

ケーブルに関する補足説明



バッテリーケーブルが走行中に離れないように写真のように結束バンドでフレームに固定してください。



AC プラグ用ケーブルも結束バンドで固定することをお勧めします。



写真のようにマットを少し持ち上げてケーブルを引き出します。

シガーソケットのケーブルを結束バンドでまとめると強度がまします。

夏季は左の写真のファスナーよりバッテリーを室内に入れマットの下に保管してください。

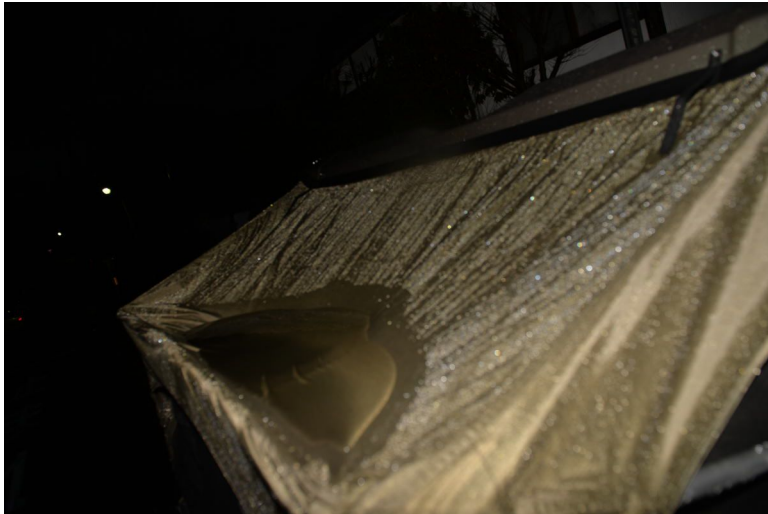


そして、写真のポケットにバッテリーとシガーソケットケーブルを収めます。

夏季にここにバッテリーを収納すると、熱くなりすぎて開閉に支障がでることがございます。

上記説明のように室内に入れてください。

フライシートの調整



フライシートの張りを調整してください。

張りが足りないと写真のようにフライシートがたるんで雨がたまってしまいます。



底の裏にあるベルトを縮めてフライシートを引っ張ってください。



それで解消しなければ、このベルトを短くすることでフライシートがピンと張ります。

雨が降る前に調整したほうが良いでしょう。

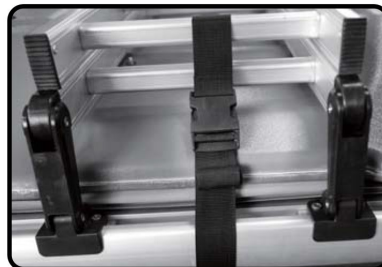
ルーフテントの開閉

2. ルーフテントの展開

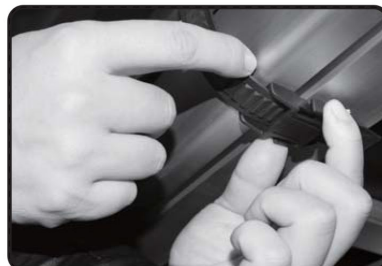
2. a) バッテリーが上がっている際はシガーソケットから電源をとります。
その際は自動車のシガーソケットに接続してください。
通常は2 b より始めてください。



2. b) ルーフテントの左右にあるハシゴを固定しているバックルをはずします。



2. c) ルーフテントの前後左右計8個あるバックルも外します。



2. d) リモコンの”UP”スイッチを押します。
この時途中で”DOWN”スイッチをしても動作しません。
途中で閉じたい場合は一旦”STOP”スイッチを1秒間押してから”DOWN”スイッチを押します。



2.e) 2分ほどでルーフテントが自動的に展開されます。



2.f) 完全に展開する前にハシゴの端を持って、引き降ろします。
完全に展開してからだとハシゴが落ちてきてしまうことがありますので、気を付けてください。



2.g) 隣の車にあたらないように、慎重に開いてください。



2.h) ハシゴがまっすぐになるまで完全に伸ばし、地面に設置してください。
その際自動でロックがかかります。



2.i) 樹脂製カバーを持ちながら、そっと開けて下さい。



2.j) これで完了です。



ルーフテントの開閉

3. ルーフテントの収納

3.a) カバーの裏側の取ってを持って、引っ張りカバーを閉じます。



3.b) 左右のロックを開き、ロックを解除します。



3.c) ロックが解除されたら、ハシゴを持ち上げながら畳みます。



3.d) 上までハシゴを持ち上げます。



3.e) ハシゴを定位置に収めます。



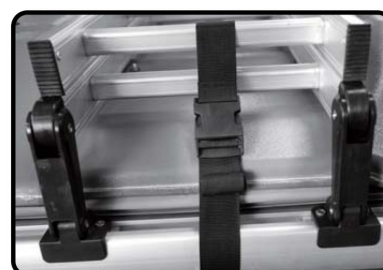
3. f) (付属バッテリーを使わない時はシガーソケットに接続します。)
リモコンの”DOWN”ボタンを押します、



3. g) 樹脂カバーが自動でしまります。



- 2.h) ハシゴ用のベルトのバックルを閉じます。



2. i) ルーフテントの前後左右にあるバックル8個でカバーを固定します。
この時あまりきつく締めないようにしてください。
きつく締めすぎると、なかなか外れなくなります。



メンテナンスについて

4. 下記点検を心がけてください。

- ・ ルーフテントは乾燥させた状態で閉じてください。
悪天候時にご使用の際は、後で展開して乾燥させてください。
- ・ プッシングロッドはきれいな状態にしてください。
- ・ ルーフテントを固定している金具やキャリアが緩んでいないかどうか定期的に確認し、緩みがあればしめ直してください。
- ・ バックルなどをはじめとするのパーツが劣化していないかどうか確認してください。
劣化していた場合は速やかに交換してください。

トラブルシューティング

ルーフテントが開閉できない時は

- A. 電源コネクタがきちんと接続されているかご確認ください。

当ルーフテントはプッシングロッドのギアを保護するため、開く（閉じる）動作から直接、閉じる（開ける）動作が直接できないようになっています。そのため一旦”STOP”を押してからでないと動作しないようになっています。

そのため動作しないと思ったら一旦”STOP”スイッチ押してから、”OPEN”もしくは”CLOSE”スイッチを押してください。

- B. ルーフテントの内部に何か物が入っていないか確認してください。
プッシングロッドの動作を邪魔しているものがない確認してください。
- C. 上記のことを確認しても解決しない場合は、プッシングロッドが故障している可能性があります。
- D. プッシングロッドが故障した際は、次のページの順に従って、プッシングロッドを交換してください。

プッシングロッドの故障

写真は初期型のプッシングロッドです、コネクターやケーブルの色やの形は違いますがほぼ同じです。

1. 右写真の四角の黒いプラスチックパーツを外します。



2. その穴から白いコードを引き出します。



3. ソケットを左に回します。



4. コードを分離させます。



5. ケーブルを引き出します。



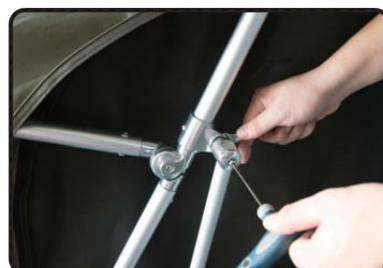
6. 防水パーツも引き出します。



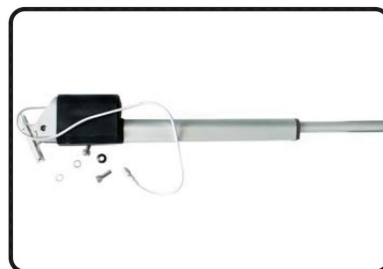
7. 大きい六角レンチで未右写真の部分の
ネジを外します。



8. 小さな六角レンチで未右写真の部分の
ネジを外します。



9. 新しいプッシングロッドに交換してくだ
さい。
取り付け方は外し方の逆の順に行ってく
ださい。



リモコンの設定

リモコンが紛失したり、故障して新しいリモコンを使用する際、リモコンを認識させるため以下の作業をしてください。

写真は初期型の受信機です、現行品は後部フレームに埋め込まれている黒いボックスが受信機となります。コネクターやボックスの形は違いますが中身はほぼ同じです。



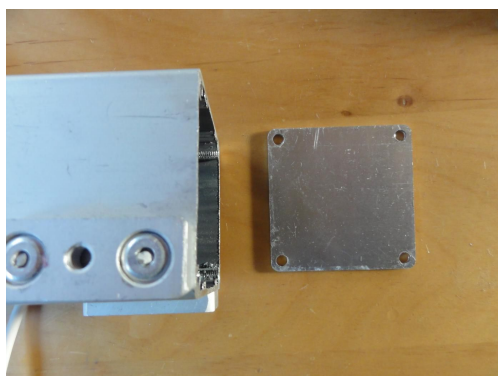
図のようにベルトを2か所外します。



コントロールボックスのネジ4か所を外します。



図のように白いコネクター2個を外します。



両側の蓋を外します。



木の柄か何かで中のボードを押し出します。

出辛い時はボードが差し込まれている溝の部分に、オイルスプレーをわずかに流し込ませると簡単に出てきます。



バッテリーを接続すると中の赤いランプが点灯します。



写真のドライバーの先に小さなボタンがあります。

手で押し辛ければドライバーか何かで押してください。

押している間にリモコンのスイッチを押してください。

すると写真のように緑色に点灯します。

これでリモコンの設定は終了です。

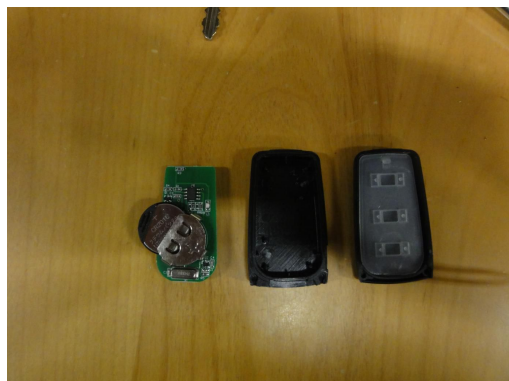
リモコンの周波数は全て違い、コントロールボックスができる認識は2個のリモコンだけです。

リモコンを1つ追加設定するたびに設定済みのリモコンが1つ消去されてしまいます。

そのため使用する設定済みのリモコンが認識されなくなることがあります。

ですので、この設定作業をする際は使用するリモコン2つとも設定を行ってください。

リモコンの電池交換



リモコンの溝のコインを入れてこじれば簡単に開けることができます。

溝をドライバーで押して電池ボックスを取り外します。



バッテリーは2個重ねて入っています。

プラスマイナス間違えないようにバッテリーを交換してください。

製品情報

製品構成

フライシート	: 210デニールリップストップ対水圧2000mm
インナーシート	: 190g ポリコットン対水圧2000mm
床面	: 210デニール ポリオックスフォード 対水圧2000mm
フレーム	: アルミニウム合金
モーター	: 直流12V 36W
展開方式	: ワイヤス電動

製品仕様

就寝定員	: 大人2名
内部のサイズ	: 210×125×115/105cm
梱包サイズ	: 236×145×38cm
重量	: 63kg
梱包重量	: 77kg